



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月8日

上場会社名 協立情報通信株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3670 URL <https://www.kccnet.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）佐々木 茂則  
問合せ先責任者（役職名）経理課 課長（氏名）蘆刈 正孝（TEL）03-3434-3141（代表）  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,011	—	180	—	186	—	195	—
2023年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	163.23	—
2023年3月期第3四半期	—	—

（注）当社は2023年3月期は連結業績を開示しておりましたが、2024年3月期第2四半期より個別業績を開示しております。そのため、2023年3月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,144	1,951	62.1
2023年3月期	2,845	1,821	64.0

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 1,951百万円 2023年3月期 1,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	55.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	—	250	—	256	—	223	—	186.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は2023年7月1日付で連結子会社である神奈川協立情報通信株式会社を吸収合併したことにより、連結子会社なくなり、2024年3月期（通期）は個別財務諸表による開示となりますので、業績予想の対前期増減率は比較対象が異なるため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	1,205,600株	2023年3月期	1,205,600株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	7,770株	2023年3月期	7,770株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	1,197,830株	2023年3月期3Q	1,197,450株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(収益認識関係) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間等との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響も落ち着き、社会経済活動が正常化するとともに、インバウンド需要の回復などにより緩やかに持ち直しの動きがみられました。その一方で、世界的な原材料・エネルギー等の物価高騰や急激な為替変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の事業領域であるICT（情報通信技術）関連業界におきましては、「インボイス制度」の開始や2024年1月施行の「電子帳簿保存法」改正の影響もあり、業務のデジタル化の加速に伴うソフトウェア投資、並びに企業のDX化（\*1）のためのIT投資需要が堅調に推移いたしました。

また、携帯電話業界では、5Gの通信能力を十分に享受できる5GSA（StandAlone）等による5Gへの移行が進み、総務省が公表した次世代の通信インフラである「Beyond 5G」による通信環境の活性化が期待されております。

一方で、通信事業者による手数料条件の改定、オンライン窓口の利用強化とキャリアショップの最適化など、活動環境は変化しており、店舗の役割もこれまでの物販中心からお客主体のビジネスへと転換を求められています。

こうしたなか、当社では、「中期経営計画2025」における基本戦略である「事業別ポートフォリオの再構築」「継続収益の拡大」「サステナビリティ」を推進し、主要パートナー企業5社（\*2）の製品・サービスを融合させた経営情報ソリューション（\*3）の提供と保守サポートに加えて、ソリューション事業及びモバイル事業の連携によるサービス展開に注力してまいりました。協立情報コミュニティー（\*4）においては、奉行シリーズを中心とした基幹業務システム関連のソリューションフェアを開催し、システム及びソフトウェアの活用提案並びに顧客のDX化の支援に取り組んでまいりました。

また、当社のソリューション事業における通信システム等の販売強化及び組織一元化による管理体制の効率化を目的として、2023年7月1日付で連結子会社であった神奈川協立情報通信株式会社を吸収合併しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高4,011,895千円、営業利益180,729千円、経常利益186,466千円、四半期純利益195,524千円となりました。

（\*1） 2018年に経済産業省の「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン」にて「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されたデジタルトランスフォーメーションの略称。

（\*2） 日本電気株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社オービックビジネスコンサルタント、日本マイクロソフト株式会社、サイボウズ株式会社の5社。

（\*3） 「情報インフラ」、「情報コンテンツ」、「情報活用」の3つの分野に対応した当社のワンストップソリューションサービスの総称。

（\*4） 旧名称は、情報創造コミュニティー。当社の提案するソリューションを、顧客に体験していただく場であるとともに、顧客やパートナー企業と新たなソリューションを共創する施設です。また、情報活用能力の開発支援を目的とした5つのソリューションスクールをパートナー企業と共同展開しております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### [ソリューション事業]

ソリューション事業においては、基幹業務システムを中心にクラウドサービスへの移行や各種ソリューション・機器の提案・導入支援が堅調に推移いたしました。また、DX化の推進に役立つ最新ソリューションや時事セミナーなどのイベント開催に加え、パートナーとの協業による通信系ソリューション提案の強化など新規開拓に注力するとともに、当社既存ユーザーに対する通信インフラ・基幹業務システム・モバイルコミュニケーションシステム

等の部門横断的な導入提案にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、ソリューション事業では、売上高1,241,290千円、セグメント利益（営業利益）332,220千円となりました。

#### 〔モバイル事業〕

店舗事業においては、地域のスマートライフ拠点として、お客様満足度向上を目指した上位資格取得の強化や店舗間での優良事例の共有などによるスタッフのサービス提案力強化を継続するとともに、不採算店舗の閉鎖による既存店舗の人的補強及びサービス体制の強化を図りました。その結果、高性能・高価格のスマートフォン及び付属品等副商材の売上は堅調に推移し、前年同期に比べ収益の改善が図られました。

法人サービス事業においては、当第3四半期での端末販売には若干苦戦したものの、端末サポートサービスは堅調を維持するとともに、キャリアの総合評価ランクアップによる継続収入が増加したことにより、前年同期に比べ収益は改善しました。また、パートナー及びソリューション部門との連携によるスマートフォン内線システム等の通信系ソリューション案件の創出、並びに店舗連携による新規案件獲得の活動を積極的に展開し、新規獲得に注力いたしました。

この結果、モバイル事業では、売上高2,770,604千円、セグメント利益（営業利益）171,005千円となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は、3,144,259千円となり、前事業年度末と比べ298,294千円の増加となりました。主たる要因は、現金及び預金が464,829千円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が137,993千円及び関係会社株式が20,000千円減少した結果によるものです。

### （負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,192,441千円となり、前事業年度末と比べ168,150千円の増加となりました。主たる要因は、支払手形及び買掛金が130,396千円及び主に未払消費税等の増加により流動負債のその他が40,150千円増加したことによるものです。

### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産残高は1,951,818千円となり、前事業年度末と比べ130,143千円の増加となりました。主たる要因は、四半期純利益の計上により195,524千円増加しましたが、期末配当による剰余金処分により65,880千円減少した結果によるものです。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月8日に発表しました2024年3月期の通期業績予想につきましては、変更はありません。

なお、今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	616,594	1,081,423
受取手形、売掛金及び契約資産	841,102	703,109
商品	185,541	206,188
仕掛品	73,873	94,833
原材料及び貯蔵品	1,000	1,668
その他	139,596	114,108
貸倒引当金	△643	△72
流動資産合計	1,857,065	2,201,259
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	183,678	171,120
工具、器具及び備品（純額）	55,883	63,439
土地	263,433	263,433
その他（純額）	35,622	24,865
有形固定資産合計	538,617	522,859
無形固定資産	11,624	7,184
投資その他の資産		
関係会社株式	20,000	—
敷金及び保証金	261,669	265,316
その他	163,433	154,114
貸倒引当金	△6,445	△6,475
投資その他の資産合計	438,658	412,956
固定資産合計	988,899	942,999
資産合計	2,845,964	3,144,259
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,834	527,231
未払法人税等	3,686	14,301
賞与引当金	68,396	57,000
その他	242,566	282,717
流動負債合計	711,484	881,249
固定負債		
退職給付引当金	237,816	247,668
資産除去債務	55,502	54,528
その他	19,487	8,994
固定負債合計	312,806	311,191
負債合計	1,024,290	1,192,441

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	204,200	204,200
資本剰余金	140,330	140,330
利益剰余金	1,480,241	1,609,885
自己株式	△5,481	△5,481
株主資本合計	1,819,289	1,948,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,384	2,883
評価・換算差額等合計	2,384	2,883
純資産合計	1,821,674	1,951,818
負債純資産合計	2,845,964	3,144,259

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,011,895
売上原価	2,645,885
売上総利益	1,366,009
販売費及び一般管理費	1,185,280
営業利益	180,729
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	150
受取手数料	3,000
受取家賃	2,712
その他	3,437
営業外収益合計	9,305
営業外費用	
支払利息	229
解約違約金	2,498
その他	840
営業外費用合計	3,568
経常利益	186,466
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	70,726
特別利益合計	70,726
税引前四半期純利益	257,193
法人税、住民税及び事業税	48,598
法人税等調整額	13,069
法人税等合計	61,668
四半期純利益	195,524



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ソリューション事業	モバイル事業	合計		
法人系	1,209,741	622,901	1,832,643	—	1,832,643
コンシューマー系	—	2,147,703	2,147,703	—	2,147,703
顧客との契約から生じる収益	1,209,741	2,770,604	3,980,346	—	3,980,346
その他の収益	31,548	—	31,548	—	31,548
外部顧客への売上高	1,241,290	2,770,604	4,011,895	—	4,011,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,241,290	2,770,604	4,011,895	—	4,011,895
セグメント利益	332,220	171,005	503,225	△322,495	180,729

(注) 1 セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない全社共通費用であり、主に本社管理部門の一般管理費であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。